

2022年5月10日

各 位

会 社 名 長 瀬 産 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 朝 倉 研 二
(コード番号 8012 東証プライム市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 管 理 本 部 長 清 水 義 久
(TEL 03-3665-3101)

サステナビリティ・リンク・ボンドの発行に関するお知らせ

当社は、企業活動を通じて社会・環境問題の解決に貢献することを目指して、当社初となるサステナビリティ・リンク・ボンド(※1)(以下、「**本社債**」といいます。)の発行を行う予定であり、本日、**本社債**発行に向けた訂正発行登録書を関東財務局長に提出しましたので、お知らせいたします。

1. 本社債発行の目的・背景

当社グループは、創業200周年となる2032年の“ありたい姿”として、「温もりある未来を創造するビジネスデザイナー」を掲げており、その実現に向け2021年度から5カ年計画となる中期経営計画**ACE 2.0**を策定しております。**ACE 2.0**の策定にあたっては、これまでの理念体型を見直し、「経営理念」「ビジョン」を含めた理念体系全てに共通する考え方として、「サステナビリティ基本方針」を策定し、サステナビリティ上の重要課題(マテリアリティ)を特定しております。

グローバルに事業を展開する当社グループにとって、気候変動への対応はグループ全体で取り組むべき重要な課題と認識しており、重要課題に対する取り組みをさらに推進すべく、当社は、2022年1月、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた方針である「NAGASE グループカーボンニュートラル宣言」を公表いたしました。具体的には、2050年までにGHG排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルの達成を掲げ(Scope1・2)、2030年までに、Scope1・2を46%削減(2013年比)、Scope3を12.3%以上削減(2020年比)することを目標としています(※2)。

上記で掲げた目標の達成がカーボンニュートラル、ひいては持続可能な社会の実現に貢献するものと考えており、ファイナンスを活用することで支援すべく、サステナビリティ・リンク・ボンドを発行することを決定いたしました。

本社債の発行を通じて、当社グループのサステナビリティに対する意欲的な姿勢を示すとともに、サステナビリティ経営をよりいっそう推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2. 本社債の概要

発行年限	10年
発行額	100億円
発行時期	2022年6月以降（予定）
KPI	KPI 1：当社グループの温室効果ガス排出量（Scope 1・2） KPI 2：当社グループの温室効果ガス排出量（Scope 3）
SPTs（※3）	SPT 1：2030年度に当社グループの温室効果ガス排出量を46%削減（2013年度比）（Scope 1・2） SPT 2：2030年度に当社グループの温室効果ガス排出量を12.3%以上削減（2020年度比）（Scope 3）
債券の特性	<p>SPTsはSPT1とSPT2を設定する。判定日時点でいずれかのSPT未達成が確認された場合、気候変動に対する取り組みを加速させるべく、本社債の償還までにSPTsの達成状況に応じた額の排出権（CO2削減価値をクレジット・証書化したもの）を購入する。排出権を購入した場合、統合報告書またはウェブサイトにて排出権の名称、移転日、購入額を開示する予定。現時点の候補としては、J-クレジット、グリーン電力証書、非化石証書を想定しているが、SPTs未達成の要因を精査の上、機関決定する。SPT1が未達成の場合は、社債発行額の0.10%相当額を、SPT2が未達成の場合は、社債発行額の0.05%相当額を購入する（両SPTsとも未達成の場合は合計0.15%相当額で購入となる）。</p> <p>ただし、排出権購入契約における不可抗力事項等（取引制度の規則等の変更や排出権の移転にかかるシステム障害等）が発生した場合には、環境保全活動を目的とする公益社団法人・公益財団法人・国際機関・自治体認定NPO法人・地方自治体やそれに準じた組織に対して、本社債の償還までに、SPTsの達成状況に応じた額の寄付を行う（SPTsの達成状況に応じた寄付額については、上記の排出権における記載を参照）。最終的な寄付先については、SPTs未達成の要因を精査の上、機関決定する。</p>
主幹事	野村証券株式会社（事務）、大和証券株式会社、みずほ証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント（※4）	野村証券株式会社

3. サステナビリティ・リンク・ボンドとしての適合性

当社は本社債発行のため、格付投資情報センター（R&I）より、国際資本市場協会（ICMA）が定める「サステナビリティ・リンク・ボンド原則（SLBP）2020」への適合性や本フレームワークの信頼性と環境、社会への効果等について、セカンドパーティーオピニオンを取得しています。

- ・R&Iによるセカンドパーティーオピニオン

<https://www.nagase.co.jp/sustainability/environment/climate-change/>

- ・サステナビリティ・リンク・ボンドフレームワーク

<https://www.nagase.co.jp/sustainability/environment/climate-change/>

- (※1) サステナビリティ・リンク・ボンドとは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標を達成するか否かによって条件が変化する債券をいいます。サステナビリティ・リンク・ボンドの発行体は、当初定めた時間軸の中で、将来の持続可能性に関する成果の改善にコミットします。具体的には、発行体があらかじめ定めた重要な評価指標（KPI）とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）による将来パフォーマンスの評価に基づいた金融商品であり、KPIに関して達成すべき目標数値として設定されたSPTsを達成したかどうかによって、債券の条件が変化します。
- (※2) Scope1、2、3とは、国際的な温室効果ガス排出量の算定と報告の基準として開発された「GHGプロトコル」で定められた温室効果ガス排出の区分を指します。なお、Scope3は今後のサプライチェーンとの対話により目標値の更新も検討します。
- Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3：Scope1、2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）
- (※3) サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）とは、サステナビリティ・リンク・ボンドの発行条件を決定する発行体の経営戦略に基づく目標をいいます。
- (※4) ストラクチャリング・エージェントとは、サステナビリティ・リンク・ボンドのフレームワークの策定やセカンドパーティーオピニオンの取得への助言などを通じて、サステナビリティ・リンク・ボンドの実行支援を行う者を指します。

(ご参考)

- ・重要なステークホルダーへの提供価値とマテリアリティ（重要課題）

	提供価値	マテリアリティ(重要課題)	関連するSDGs
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ●安全で働きやすい職場環境 ●従業員が明るく、楽しく、活き活きと仕事ができる環境 ●従業員とその家族が誇りを持って語れる企業集団 	<p>多様な人財の活用、職場環境と企業文化の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ●先進技術を用いた生産性向上や多様な人財の活用 ●グループとして多様な背景を持つ従業員が、お互いを尊重し、活性化し合う職場環境の提供と企業文化の醸成 	 
取引先	<ul style="list-style-type: none"> ●取引先を深く理解し、幅広い可能性を追求できる協関係の構築 ●バリューチェーン全体で取組むべき課題や社会課題に対するソリューション 	<p>先端技術を活用した新たな価値創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ●先端技術と取引先ネットワークを活用した新たな価値創造 ●複雑性が高まる取引先課題の真因理解に基づく、幅広い解決手法の提供 	 
社会・消費者	<ul style="list-style-type: none"> ●遵法・倫理経営を実践し、地域社会の発展に貢献 ●サプライチェーンに関わる人々の権利、健康、快適さに配慮 ●安心・安全で温もりのある社会実現に向けた製品・サービス 	<p>社会・環境課題の解決とグローバル化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●気候変動、食料・水不足等、安心・安全を脅かす課題の解決 ●食の安全の確保・向上にバイオやAI等の先端技術を活用して貢献 ●先進国を中心とした高齢化進行による健康維持に対する需要の充足 ●グローバル化の加速、地域毎の社会課題解決への寄与 	   
株主	<ul style="list-style-type: none"> ●透明性の高い経営体制と適時・適正な情報開示による信頼と安心 ●経済価値・社会価値の向上を両立し、継続的な事業創造による企業価値の最大化 	<p>コーポレート・ガバナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●透明性の高いコーポレート・ガバナンスを確立 ●経済価値と社会価値の両立による持続的な企業価値向上 	

(ご参考資料)

- ・中期経営計画 ACE 2.0
<https://www.nagase.co.jp/company/management-policy/>
- ・NAGASE グループカーボンニュートラル宣言
<https://www.nagase.co.jp/assetfiles/tekijikaiji/20220125-1.pdf>

以上